

釜石商工会議所 釜石商工会議所（岩手県）



「地域再生支援事業」

【事業目的】

東日本大震災で、岩手県釜石市内の小中学生約3,000人のほぼ全員が避難することができた「釜石の奇跡」。

またその一方で、多数の犠牲者を出したことも事実である。

平日の日中に発生したため、消防団等の若い人たちが仕事に出ており、活動を行える状況ではなかった。そのような課題解決のためにも、地域で店を構える事業者が防災への取り組みを市民の一翼として担う必要がある。

今回の事業を通じて、避難行動を実践することを可能とした、防災への取り組みについて学び、地域生活者に普及させると共に、地域コミュニティを再生することを目的とする。

【事業実施状況・成果】

- ◆ 鶴住居地域の防災を含めた再生計画の会議
- ◆ 移動販売車チラシ作成

【成果】

釜石市鶴住居地域の再生を考えたときに防災の部分も必要だが、人が住めるような街づくりをしていかなければならないため、人が住みやすい環境の検討を阪神・淡路大震災の復興に携わったアドバイザーを招き、鶴住居地域の事業者とともに、復興に向けた会議をこれまで計7回行った。

また、鶴住居地域の事業者が連携し、移動販売車にて仮設住宅での訪問移動販売を実施した。
飲食店2店舗、製造小売2店舗、生活雑貨小売1店舗の計5店舗でそれぞれのお店の商品を持ち寄り、地域生活者の買い物の利便性を向上させた。

今後についても、確実な顧客獲得のために、今回作成したチラシを基に、お店を知ってもらうための取り組みを行っていく。

【今後予想される事業効果】

釜石市鶴住居地域の復興計画について、策定前の段階から官民一体となって取り組むことで、復興が加速化され、復興計画が策定となれば、事業者や地元住民が動き出すことに期待ができる。

移動販売については、地域生活者に喜ばれるようなサービスを行い、お店をPRすることで、新規顧客やリピーター顧客の獲得に期待ができ、いずれ本設へと移行していく事業者の意欲に期待できる。